

令和7年度 第4回 双葉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月13日（金）14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 双葉小学校 会議室
- 3 出席委員 河邊 忠一、平岡 廣二、加藤 泰弘、伊東 敏郎、水野 久美子、
大羽 恵子、菱 悦子、木村 理、大嶋 雅也、服部 知里
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 加藤 晴康（南部協働センター館長）
- 6 学 校 中村 憲司(校長)、滝川 宏美(教頭)、齊藤 幸宏(教務主任)、
畑 颯人(生徒指導主任)、馬淵 康枝（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 馬淵 康枝
- 9 議長の選出
司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、水野委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - (1) 学校関係者評価（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）
 - (2) 学校運営協議会の自己評価
 - (3) 来年度の学校運営の基本方針の説明
- 11 会議記録
司会の教頭から、委員総数10人全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
 - (1) 学校関係者評価（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）
議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき前回のグループ協議での委員の方々の御意見や意見を受けての改善策を含めた学校評価について説明があった。
委員からは、以下の発言があった。
 - ・学校評価アンケートは、振り返ることで課題も見つかり、次年度につなげて改善していくことができる。（木村委員）
 - ・学校評価アンケートは、高い数字で合格ラインだと思う。（大嶋委員）
 - ・「『やりたいこと』を見つけて、挑戦している」は、キッズチャレンジビジネスでも見られた。（服部委員）
 - ・アンケートの結果で、①②の学校職員の評価が100%で、⑦は低い数字になっているが、どういう点が低いのか？（河邊会長）→⑦の「学校のきまりを守って生活をしている」は、例えばヘルメットのかぶり方でも、学校のルールについての認識に職員と子供とのギャップがあり、結果に差が出ている。（教務主任）

- ・やりたいことを見つけるだけでなく、やっているうちに見つかる方向へ導き、いろいろやってみると良い。(平岡委員)
- ・アンケートは、低学年では考えられないのではないかと。内容の工夫が欲しい。(伊東委員)
- ・身近の大人が手本となり、子供の将来の選択になれば良い。(菘委員)
- ・ランドデザインを常に可視化して共有できると良い。(水野委員)

議長の指示により、生徒指導主任から、別紙資料に基づきいじめ防止等のための基本的な方針及び本年度の現状について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・いじめの件数だけ見ると多いと感じたが、いじめについての法律や定義を見ると納得した。見逃さないようにしていることによる件数の多さだと感じる。目が行き届かないところで起こることもあり、問題は続くので見守りたいと思う。(木村委員)
- ・いじめについての法律があることを保護者は知らないと思うので、保護者へ周知する機会がもっとあると良い。(大嶋委員)
- ・細かいことでもいじめとして認知されるため、件数が多いことに驚いた。SNS を通してのいじめを学校が認知するのは難しいので、家庭で指導することが望まれる。(服部委員)
- ・いじめの認知件数が増えたことにより、職員の対応にかかる時間が増えて、ただでさえ疲弊している状態で、どうすればより効果的に対応ができるかが課題で、検討が必要になる。(河邊会長)
- ・いじめの対応に市教委の専門部門があれば、職員の負担が減るのではないかと。(平岡委員)
- ・専門部署があると聞いている。(加藤委員)
- ・昔はいじめと言っても子供同士の遊びの延長だったが、今は難しく、深刻な事態にならないければ良いと思う。(大羽委員)
- ・時間をかけて丁寧な対応が必要になるが、件数が多くて大変になるので、専門部門の対応が必要ではないかと。(水野委員)

(2) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校運営協議会自己評価表について説明があった。

本年度の目標に対する評価について、各評価項目とも「できた」と評価したことを委員で確認した。今年度の評価を踏まえて、来年度の目標についても検討し、委員総意で決定した。

(3) 来年度の学校運営の基本方針の説明

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき来年度の学校経営方針について説明があり、議長より、来年度の取り組みに対する応援や評価できる点について意見を求めたところ、委員からは、以下の発言があった。

- ・学校教育目標の「気づき・考え、行動する」がすばらしいと思った。(伊東委員)
 - ・めざす教師の姿として、「五者たらん」ことを若い教師に進めてほしい。(加藤委員)
 - ・重点目標が大切で、どうやったらうまくいくかは教師の手腕にかかっている。「安全に気を付けて生活する」が一番大事。(平岡委員)
 - ・めざす学校の姿、「みんなが幸せな学校」という目標において、「幸せ」のためにという言葉が大変良い。(河邊委員)
 - ・令和8年度のグランドデザインは、保護者にも分かりやすいのではないかと。(服部委員)
 - ・重点目標の「やさしい子」に「気を遣える」を加えてほしい。(大嶋委員)
 - ・令和8年度のグランドデザインでは、思い切って教育目標を変えている。わくわくする説明を聞いて楽しみになった。保護者にも見てもらい関心をもってもらいたい。(木村委員)
 - ・「気づき・考え、行動する」が安全に生活を送るのにもふさわしい。(蓑委員)
 - ・「行動する」は大人も子供も大事だと思う。(大羽委員)
 - ・「気づき・考え、行動する」が良い。グランドデザインも分かりやすく、簡易版の掲示もするということで、周知につながって良い。(水野委員)
- 来年度の学校運営の基本方針について、委員の方々から仮承認をいただいた。

12 その他報告事項等

学校支援コーディネーターの木村様から、ボランティアの活動報告があった。

教頭から、ボランティア登録について説明があった。

学校からの夢育やらまいか事業報告の件で、キッズチャレンジビジネスの販売結果の報告があった。

司会から、次回会議は、令和8年4月28日(火) 14時00分～16時00分に3階会議室で開催する旨の報告があった。